

# Monthly Report

Vol.156 / 2019 .APR

## 「平成31年度 第53回体育学部第22回大学院入学式」 を挙りました



入学者を代表して宣誓文を読み上げる、石川偉央里さん  
(現代武道学科1年-福島・福島東高等学校出身)

4月3日(水)、本学第五体育館で「平成31年度 第53回体育学部第22回大学院入学式」が執り行なわれ、新入生697人(体育学科357人・健康福祉学科105人・運動栄養学科85人・スポーツ情報マスメディア学科42人・現代武道学科50人・子ども運動教育学科41人・編入学生3人・大学院スポーツ科学研究科14人)が、入学を許可されました。

遠藤保雄学長は、新入生に対し、①東京オリンピックへの取り組み、②スポーツを科学的視点での学修への取り組み、③人材の宝庫であり、充実したスポーツ競技施設を有する本学での総合的スポーツ健康科学の学修への取り組み、④本学の教育研究のノウハウを活用してのスポーツビジネスの研究とその成果を活用した地方経済の活性化への取り組みを呼び掛けつつ、「共に学ぼう、語り合おう、そして肩を組もう、苦しい時には顔をゆがめたとしても、つらい時には涙を流したとしても、しかし、最後には、今日、入学した学友と笑顔一杯で手をつなごう。そして、前に、前に、仮に「一步前進二歩後退」であっても、前に進もう、我々教職員とも一体となって！」と激励。

続いて、朴澤泰治理事長・学事顧問が「みなさんには、仙台大学に在学する間に、是非、この「実学と創意工夫」という「建学の精神」を駆使して、身の廻りにある刺激を、大学生活の目標を創るきっかけとし、「教育の質」の向上という大学の取組みを上手に活用して、様々な「学び」にチャレンジして頂きたいと思います。」と挨拶しました。

また入学者を代表して石川偉央里さん(現代武道学科1年-福島・福島東高等学校出身)が「私たちは、体育・スポーツに関わる諸科学を探求し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活を送るよう、努力して参ります」と力強く宣誓文を読み上げた後、ご来賓の山田裕一白石市長から「県南地域の人々の健康な生活の維持展開のためにも仙台大学のスポーツ分野や健康運動分野の知見の活用は極めて重要でその役割に期待したい」とのご祝辞を頂きました。

式終了後の学科別懇親会では担当教員の挨拶や学科の取り組みが紹介され、帰り際には先輩たちがサークルや研究会など勧誘を行っており、新入生は大学生活の第一歩を踏み出しました。

### 〈 目 次 〉

・「平成31年度 第53回体育学部第22回大学院入学式」を挙りました	1
・大学院新入生歓迎会を開催しました ・学内合同企業等説明会を開催!	2
・春のオープンキャンパス2019を開催 ・「第11回元気!健康!フェアinとうほく」で健康運動指導	3
・スポーツ情報サポート研究会が「優良賞」を受賞 ・平成30年度コーチング学会奨励賞を受賞しました ・ラグビー部主催 スプリングキャンプを行いました	4
・警察官採用試験に強い『仙台大学』～「警察官になりたいっ」から「絶対警察官になります!!!」～ ・2018年度第13回『仙台大学体育施設管理士』認定証授与式を開催	5
・韓国国立体育大学校の新総長就任式、遠藤学長が出席 ・春季海外留学・研修報告	6
・「東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」と立川市(東京都)が協力協定を締結しました ・英国陸軍女子クリケットチームが本学に来訪 クリケットの魅力を紹介しました	7
・芝草通信 NO. 1 ・明成高校・新入生研修合宿でレクリエーションを本学学生が開催しました	8
・「高校スポーツの安全を守る」Vol.13 ・「新留學生歓迎お花見会」を開催しました	9

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報室までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報室までご一報ください。

仙台大学 広報室

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

## 大学院新入生歓迎会を開催しました



記念写真



新入生自己紹介の様子



歓談中の様子

4月3日（水）学生食堂なちゅらを会場に「平成31年度仙台大学大学院新入生歓迎会」が開催され、新入生14名、教職員と大学院生含め約50名が参加しました。

遠藤保雄学長の挨拶では小さな大投手と言われた山中正竹 氏の「知・学・慣・等・越」に触れつつ「これから研究者になるというときに彼の生き方である、研究から学ぶ、更にもその研究を見つめている方から学ぶという姿勢が大切かと思えます」と歓迎され、朴澤理事長・学事顧問からは「2040グランドデザイン答申などにも眼を配り、グローバルに大学院の在り方を考えていき、自分のテーマを考えていただきたい」と挨拶されました。

また乾杯では藤井久雄大学院研究科長が「大学院20周年を迎えました。皆さんが修了してからどんなことで活躍したいか大きな目標をもって頑張ってください」と新入生にエールを送りました。

今年も新入生の挨拶では自己紹介やそれぞれが研究したいテーマなどを発表し、これから始まる大学院生活に期待を寄せていました。

また歓談中は新入生が大学院生の先輩や教職員の方々へ研究テーマや大学について会話をしている様子が見られるなど、楽しいひとときとなりました。

## 学内合同企業等説明会を開催！



合同企業等説明会の様子

3月22日（金）に本学3年生と大学院生を対象とした合同企業等説明会を開催しました。今年は44の事業所にご参加頂き、入場者は昨年の約2倍にあたる200名（学部199名、大学院生1名）の学生が来場し、盛会のうちに終了することができました。

参加した事業所は、民間企業のみならず、公務員の採用窓口の方（警察官・消防官・自衛官）にもご参加頂き、各ブースでは、熱心にメモを取る学生の姿が見られるなど、説明会に対する関心の高さが伺えました。特に本学学生の希望が多いスポーツ関連企業や警察、消防、警備会社などには多くの学生が集まり熱心に説明を聞いていました。参加学生からは、「他の説明会でなかなか聞けない本学ならではの企業説明会だった」「ホームページだけでは分からない情報が聞けて良かった」や「様々な企業の説明が聞け、視野が広がった」などの感想が寄せられました。入試創職室では、引き続き、学生の就職活動を支援する企画を実施していきます。

〈報告：入試創職室〉

## 春のオープンキャンパス2019を開催

3月25日（月）春のオープンキャンパス2019では、大学概要説明会、学科別ミニ講義、入試個別相談会、キャンパスツアーなど、多彩なイベントを開催し、高校生や保護者の方々に多数ご来場いただきました。



保育室見学コーナー  
(子ども運動教育学科)



元警察官が教える！逮捕術・護身術を学ぼう (現代武道学科)



「ライフステージにおけるスポーツトレーナーの役割と魔法の改善法 (体育学科)



映像作品を作る (スポーツ情報マスメディア学科)



心肺蘇生コーナー  
(健康福祉学科)



スポーツサプリメントを正しく理解しよう (運動栄養学科)

## 「第11回元気！健康！フェアinとうほく」で健康運動指導

4月6日（土）、7日（日）の2日間、仙台国際センター（仙台市青葉区）で「第11回元気！健康！フェアinとうほく」（主催：東北大学、河北新報社、東北放送/共催：仙台大学他）が開催されました。

同フェアは、東北大学を中心とした多くの企業や団体が参加し、最新・最先端の健康情報について、講師陣が幅広い視点で分かりやすく紹介する講演やセミナーなど、健康イベントが数多く出展されるイベントです。11回目の開催となる今年の来場者数は延べ9,200名と多くの方が来場されました。

本学は「元気体操の楽しみ方」と題した実演指導を行い、カラダを使った頭の体操や、家庭で気軽にできるストレッチ、いつまでも自立して歩くことができるための下肢の筋力トレーニングを行いました。

講演終了後に参加された方とお話をする中で、同フェアのような有識者が一堂に会するイベントを地域の方々には楽しみにしているのだと感じました。

今後、多くの地域住民が積極的に健康づくりに取り組んでいただけるよう、尽力していく考えです。

<報告：田中 亨 新助手・後藤 佳恩 新助手>



元気体操を行う、田中亨新助手

## スポーツ情報サポート研究会が「優良賞」を受賞

スポーツ情報サポート研究会メディア班が、昨年の夏から仙台市教育委員会生涯学習課からの委託事業として、社会教育を目的に「スポーツの場で活躍するボランティア」と題し、スポーツボランティアを紹介すると共に、その意義や楽しさ、やりがいをインタビューを交え映像教材として制作しました。

この作品は仙台市自作視聴覚教材審査会において、社会教育部門で「優良賞」を受賞しました。

この作品に関わった学生は、外部の方と連絡を取り行動をとる難しさなど、社会とのつながり方を学ぶことができました。

※スポーツ情報サポート研究会は、学科を問わず分析や映像に興味のある学生を募集しています。

<報告：スポーツ情報マスメディア学科>



スポーツ情報サポート研究会メディア班

## 平成30年度コーチング学会奨励賞を受賞しました

この度、下記の論文が、平成30年度コーチング学会奨励賞を受賞しました。

(岡田成弘・坂本昭裕・川田泰紀・堀松雅博 (2018))

「遠征型キャンプが小中学生の自然に対する態度に及ぼす効果：滞在型キャンプ及びキャンプ不参加者との比較」

コーチング学研究第31巻第2号



先月開催された日本コーチング学会第30回大会で、賞状を受け取ってきました。

この研究は、私の博士論文の中心的な課題の一つで、学生時代のキャンプ指導実践を通して、ぼんやりとしていた「何か」を、ようやく具現化できた研究でした。

分析したデータは2015・2016年のものですが、そこに至るまでには何年もの試行錯誤があり、多くの方の協力があって形になったもので、このような形で評価され、非常に嬉しく思います。

また、他の専門領域（野外以外の学会）で評価されたことも、とても嬉しいことで、更には、仙台大学で実践・研究を共にした修了生の川田と堀松の名前が入った論文が受賞されたことも、指導教員としては嬉しいことです。

学会奨励賞の名に恥じぬよう、よりよいキャンプ指導の実践のための研究を進めていきたいと思えます。

また、キャンプ現場だけでなく、スポーツや社会とキャンプ（野外）のつながりについても深めていきたいと思えますので、興味のある方は是非お声がけください（共同研究しましょう）。

<報告：岡田成弘准教授>



## ラグビー部主催 スプリングキャンプを行いました

4月6日（土）第2グラウンドラグビー場に、山形・宮城・福島各県から計6高校が集まり、各校ラグビー部部員約100名がラグビーを通して交流を深めました。この企画は本学ラグビー部OBから発案され、船岡自衛隊ラグビー部、本学AT部といった様々な方にお力添え、ご協力いただき、本学ラグビー部主催で実施の運びとなりました。

午前中は、船岡自衛隊ラグビー部桜庭ヘッドコーチとラグビー部部員による、ブレイクダウンを中心としたセッションを行い、午後は、6校総当たりのトレーニングマッチを行い、大きな怪我人もなく無事に終了しました。

<報告：ラグビー部監督：武石健哉准教授>



スプリングキャンプ中の様子

## 警察官採用試験に強い『仙台大学』

～「警察官になりたいっ」から「絶対警察官になります!!」へ～



パトカー乗車体験コーナー



説明会



イベントの様子

4月12日（金）仙台大学学生食堂前にて宮城県大河原警察署広報ユニット「SAKURA」による警察官業務紹介イベントが行われました。

宮城県警では、今年度から採用試験の回数を年1回から年2回に増やし、警察官志望の学生にとってはチャンスが広がりました。学生食堂に行き交う学生達の中でも将来警察官を目指している学生は、自ら特設スペースの説明会ブースへと足を進め、真剣な表情で説明に聞き入っていました。現代武道学科3年生の学生は、「採用試験まで後1年あるなど漠然と考えていましたが、直接説明を聞いたことで改めて夢への実現に向けて頑張らなければいけない。」と気を引き締めていました。また、パトカー乗車体験コーナーでは次々と学生達が興味深そうに乗車を体験していました。その中にはフィンランドから短期留学で訪れている学生もおり、笑顔で乗車していました。

※H31年3月卒業生：32名が警察官採用試験に合格。（延べ人数）

<報告：入試創職室>

## 2018年度第13回『仙台大学体育施設管理士』認定証授与式を開催

### \*20名が資格取得

2019年4月9日（火）管理研究棟2階 大会議室において、2018年度第13回『仙台大学体育施設管理士』認定証授与式が行なわれました。今回は21名受験して20名が合格し、最高得点の黒沼武尊さんを先頭に合格者に対して遠藤保雄学長から認定証が授与されました。

### \*本学の授業で修得できる資格

体育施設管理士は体育施設の維持管理・運営に必要な知識・技能を認定する資格で、この資格に必要な「スポーツ施設管理概論Ⅰ、Ⅱ」、「スポーツ施設の経営・管理」や「運動障害救急法」等の科目は本学において習得することができ、科目修得後、公益財団法人 日本体育施設協会が学内で実施する資格認定試験に合格した者に『公認体育施設管理士』の資格が付与されています。日本体育施設協会は今まで64回の養成講習会（50余年間）を通してこの資格者を約11,000名認定してきましたが、本学は同協会の体育施設管理士認定校になって今年度で14年目となり、累計551名の有資格者を養成してきました。

### \*資格修得後の心構え

授与式の後、遠藤保雄学長は講評で、「今回、取得したこの資格をベースに如何に職域を、分野を限定される事なく広げていくかを考えてほしい。資格が有るが故にその資格が一つの付加価値と考え、あるいは特技だと考え、価値や存在を示して欲しい」と述べつつ、「2020年のオリンピック開催で国民の関心もスポーツに対して高まっていくと共に、施設の利用も広がっていく。施設の管理の在り方が大切になってくるであろう。具体的には、夏場の施設で熱中症に掛かり易い時に施設の管理に知見を持つ皆さんの注意喚起が大切になってくる。冬場においては熱効率を考慮した施設利用が重要である。その様なことを考慮に入れながらどの様な施設をどの様に管理をしたほうが良いかを考えてほしい」と附言しました。

### <就職試験等への活用を>

資格を取得した皆さんには、これから就職活動が待ち構えています。その際、この資格取得により得られた①施設の安全管理 ②顧客満足度を高める維持管理方法に関する知見に加え、③施設を経営管理していく判断力をも学んでいる点も、会社訪問の際や就職試験の際に説明できるよう準備して、就職活動のツールの一つとして活用していく事が期待されます。

<報告：小島文雄体育施設管理コンサルタント>



記念写真

## 韓国国立体育大学校の新総長就任式、遠藤学長が出席



左から金賢植准教授、遠藤保雄学長、  
Park Hokoен国際センター長



植樹式典後に記念写真



左から安容奎（AHN, YONG-KYU）  
第7代総長と遠藤保雄学長

4月5日（金）に行われた韓国国立体育大学の第7代総長の就任式に、本学からは遠藤保雄学長と金賢植准教授が出席しました。

韓国体育大学校は、「国立学校設置令」により、1977年（昭和52）設立の韓国唯一の体育大学で、多くのオリンピックメダルリストだけではなく、優秀なスポーツ指導者を輩出しています。2017年設立以降40年間、オリンピックで韓国国立体育大学の出身者が取った全体メダルの数は、100個に上ります。これは、これまで韓国が獲得したオリンピックメダルの30%以上を占めるものであり、韓国国立体育大学が強力な競技力を持った選手を育成してきたことを示しています。

本学とは、国際交流協定を平成20年3月18日に締結し、平成21年2月には本学の女子柔道部が韓国国立体育大学で、同年12月には本学で合同強化合宿を行い、競技力の向上を図っています。

今回の就任式には、国内外の大学、教育機関、政府、企業など多くの来賓が来しました。とくに、来賓を代表し、遠藤学長が宮城県ゆかりの記念品を贈呈しました。就任式後は、植樹式典に参加し、国際センター長（Park Hokoен）の案内でキャンパスツアーを行いました。

韓国国立体育大学と本学とは、これまで柔道部が交流を行って来ましたが、安総長からは、これからテコンドー関係の講義へ教員の派遣やウエイトリフティング部など様々な運動部の練習および教員間の研究の交流を通じて、両大学の交流がより一層発展することへの期待感が表明され、実りのある意見交換も行われました。

<報告：金賢植准教授>

## 春季海外留学・研修報告



記念写真

4月16日（火）学長室において、平成30年度春季海外留学・研修の中、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校（アメリカ）、カンタベリー大学・CCEL（ニュージーランド）、カヤニ応用科学大学（フィンランド）、南デンマーク大学・ノアフュンス国民大学（デンマーク）のプログラムに派遣された学生から遠藤保雄学長へ研修の成果等について報告を行いました。

参加した学生からは、「英語を学ぶ重要性を再認識できました。」「ホームステイを通していろいろ貴重な経験をする事ができました。」「次回は違うプログラムに参加したいと思いました。」などの報告がされました。

<報告：国際交流センター>

## 「東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」と立川市（東京都）が協力協定を締結しました

4月22日（月）LC棟1階で、ベラルーシ女子新体操ナショナルチームの事前合宿に関わる協力協定式を開催し、朴澤理事長・学事顧問が会長を務める東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会と立川市（東京都）との間で協力協定を締結しました。

東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会は2017年6月に協定を締結し、これまでに2度の事前合宿を白石市のホワイトキューブと本学で実施してきました。

今年も7月24日から8月1日に事前合宿を行う予定としており、今回の連携協定の締結で、後半の二日間は東京の暑さや環境に慣れるために開催地である立川市（東京都）で事前合宿を行う予定です。また立川市では、東京での競技開催時、白石市、柴田町からの応援団の宿舍確保に協力頂くことになっております。



写真左から山田裕一白石市長、朴澤泰治理事長・学事顧問、清水庄平立川市長、滝口茂柴田町長

東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会長  
朴澤泰治理事長・学事顧問のコメント

「メダル獲得という大きな目標を是非、実現して頂きたい。今後も様々な形でベラルーシ新体操ナショナルチームの応援をしていきたい」

## 英国陸軍女子クリケットチームが本学に来訪 クリケットの魅力を紹介しました

4月24日（水）本学に英国陸軍女子クリケットチームが来訪し、体験会や本学で昨年5月に発足した東北唯一の女子クリケット部と混合のチームで交流戦を行うなどクリケットの魅力を紹介して頂きました。

午前中は体験会を行い、約50名が参加。ボールの投げ方や打ち方、ミニゲームなどを実施し、普段は他の競技で活躍している学生達も初めてのクリケットに競技の難しさや楽しさを感じながら大いに盛り上がりました。

次に、昼食を兼ねて船岡城址公園にピクニックに行きました。その際、本学の国際交流サークルの学生男女各2名、レクリエーション部からも女子2名がジョイントし英語でのコミュニケーションを楽しんでくれました。

また午後からは英国陸軍女子クリケットチームと本学女子クリケット部の混合のチームによる交流戦を開催し、会場に訪れた本学学生と教職員 約200名が試合の様子やルールを日本クリケット協会の宮地直実さんに解説をしていただきながら、白熱した試合に魅せられていました。



交流試合の様子



ボールの投げ方を体験する様子



観戦する多くの学生達



記念写真

## 芝草通信 NO. 1

担当：小島文雄体育施設管理コンサルタント

仙台大学にはキャンパスの憩いや美観など天然芝生の施設が充実しております。この施設の維持管理に携わるチームとして、第二グラウンド、ラグビー・アメリカンフットボール場を(仮称)スポーツターフスタッフ(小島・野口・八巻)が維持管理をしており、学内の噴水廻り天然芝生や陸上競技場の芝生の維持管理を労務職(佐藤・池田・紺野)の皆さんと一緒に維持管理しております。美しく利用しやすい芝生の維持管理の為に、あらゆる自然環境に適応しております。その知識を皆様にお伝えしていきたいと考えて今後定期的に発信していきます。

今回は初めてですので、噴水廻り芝生の4月状況を説明いたします。

芝生には暖地型と寒地型があります。又日本芝と洋芝の区分があります。本学の噴水廻りの芝生は暖地型日本芝で、種類は高麗芝と呼ばれております。俗に日本全国の公園の景観用芝生は殆んどこの種類の芝生を利用しています。

冬季は冬眠中で芝生の色は黄変していますが、季節の移り変わりと共に元気に成長して緑色に変化してきています。寒冷期の芝生は踏圧に弱いので、ロープで囲って、進入禁止を皆様をお願いしてきました。連休明けにはそれも解除していきますので全面が緑色になり整備されてきたらどうぞ緑と共にリフレッシュを感じて、休憩などに利用してください。

- <4月に行なった管理>
1. 茎葉処理の除草剤を散布(広葉雑草駆除)
  2. 土壌処理の発芽防止剤散布(雑草の種を抑制する)



噴水廻り暖地型日本芝・高麗芝  
<Cブロック>



噴水廻り暖地型日本芝・高麗芝  
<Aブロック>

## 明成高校・新入生研修合宿でレクリエーションを本学学生が開催しました



活動の様子

4月14日(日)アクティブリゾーツ宮城蔵王にて明成高校・新入生研修合宿が行われ、新入生同士が交流を深めるためのレクリエーションを本学学生が主導の下で開催しました。姉妹校である明成高校の研修合宿ということで、明成高校卒業生7名を含む、在學生13名がビンゴゲーム等の企画発案と実践に取り組みました。

仙台大学にて専門領域の勉学に励む明成高校卒業生の姿は、新入生にとって良い刺激となっただけでなく、在學生にとっても学びの多い一日となりました。

今後も姉妹校という強みを活かし、大学生と高校生の交流する機会が増えていければと思います。

<報告：浅野勝成助手>

FESリハーサルと本番1回目！

担当：白坂 広子助手

FES (Freshman Entrance Screening) とは、4月に新入生対象で行うフィジカルチェックのことです。これは川平ATRが活動の主軸とするもので、FESから各チームや生徒個人の身体的傾向をつかみ、弱点になる部分や怪我のリスクがある状態を3年間継続して改善と向上をしていくというスポーツ傷害予防への試みです。去る3月21日、仙台大学AT部の学生14名、S&Cインターンの学生3名と4月本番に向けたリハーサルを行いました。FESの測定項目は①下肢アライメントチェック、②片足立ち上がり、③しゃがみこみ、④踵臀間距離、⑤長座体前屈、⑥足趾筋力、⑦全身動的可動性、⑧回旋軸安定性、⑨体組成、という9項目です。この9項目は川平ATとS&Cで厳選したものです。体力測定やフィジカルチェックというものには様々な測定・検査項目がありますが、私達はどの測定項目を実施するべきか協議を重ねてきました。そしてこれらの項目は現在の身体状態の把握、将来的な怪我のリスクを把握するため、そして時間・場所制限、経済面なども考慮した上で、最適な項目だと考え決めました。リハーサル当日は大学生と項目の測定の意味、測定の仕方、測定結果の見方などを確認、勉強しました。大学生は1日がかりの作業となりましたが、本番に向けて頑張ってお練習していました。本番は4月27日（土）です。学生のみなさん、引き続き一緒に頑張りましょう！！



## 「新留学生歓迎お花見会」を開催しました



記念写真

4月23日（火）に毎年恒例の新留学生歓迎お花見会を学生食堂なちゅらで開催しました。

お花見会は、本学の学生と国際交流締結校の中国、台湾、韓国からの留学生の交流を主な目的としています。今回は留学生18名、教職員23名、仙台大学の学生4名の総勢45名が参加しました。今年度は、中国の瀋陽師範大学から2名、フィンランドのカヤーニ応用科学大学から短期留学で4名が、4月から日本の文化や言葉、自分の専門分野を学ぶために本学へ参りました。4月24日（水）に帰国するフィンランドの学生は自己紹介のときに日本での思い出を動画にて作成し披露していました。また、学生支援センター主催で留学生対象のビンゴ大会を実施し、留学生と本学学生が非常に楽しく笑顔で交流するなど、終始和やかな雰囲気で行われました。本来の目的である留学生と本学の学生との交流がしっかりと出来ており、国籍関係なく学生間の仲がより深められて非常に意義のあるお花見会となりました。

今後も留学生が日本の生活に慣れ親しみ、勉学に集中できる環境を整えられるようにサポートをしていきたいと考えております。また、留学生がより多くの本学学生と仲が深まっていけるような取り組みをしていき、学生が充実した大学生活を送っていけるように努力して参ります。

< 報告：学生支援室 櫻井一樹 >